

法政大学現代法研究所公開研究会

国連グローバル・コンパクトの現代的意義

2007年12月8日(土) 13:30~16:30

法政大学市ヶ谷キャンパス富士見坂校舎 1F・遠隔講義室

<プログラム>

13:30-13:40 開会あいさつ

名和田 是彦 (法政大学現代法研究所 所長)

江橋 崇 (法政大学現代法研究所 グローバル・コンパクト研究センター長)

13:40-14:55 報告 (各 25 分)

1. 国連グローバル・コンパクトの現代的意義

梅田 徹 (麗澤大学教授、国連グローバル・コンパクト・アカデミア代表)

2. 国連グローバル・コンパクトの国際的意義

多田 博之 (国連グローバル・コンパクト日本委員会代表、アマタ株式会社)

3. 国連グローバル・コンパクトと労働者の権利

中嶋 滋 (連合国際代表、ILO 理事)

14:55-15:05 休憩 (10 分)

15:05-15:45 討論 (40 分)

15:45-16:15 紹介 (各 10 分)

1. 政府によるグローバル・コンパクトへの支援

金子 匡良 (人権政策研究会共同研究者、高松短期大学専任講師)

2. 川崎市におけるグローバル・コンパクトへの取組み (仮題)

牧 葉子 (川崎市環境局総務部国際環境施策推進担当)

3. 企業、自治体によるグローバル・コンパクトへの取組みの実例

菅原 絵美 (人権政策研究会研究協力者、大阪大学大学院)

16:15-16:30 まとめ グローバル・コンパクト研究センターにおける研究の現況と展望

山崎 公士 (人権政策研究会代表、新潟大学教授)

16:30 閉会

司会 山崎公士

※なお、研究会終了後に懇親会を予定しております。どうぞご参加ください。